

神山っ子の力（学力と学習・生活）

令和6年度全国学力・学習状況調査結果より
2024年4月18日 6年生実施



国語

◎良好な点

- ・物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く力がついています。

文章の内容を考えながら音読したり、あらすじをとらえる学習クイズを取り入れたり、内容を正しく読み取ることに重点を置いて学習を進めています。また、登場人物の関係や気持ちの変化などについて、本文の叙述を根拠に考えたり描写を基にとらえたりする学習に取り組んでいることが成果に表れています。

- ・主語と述語の関係を正しく理解しています。
- ・相手に伝わりやすい話し方について正しく理解しています。



▲課題として

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討することに課題があります。

与えられた枠に沿って分類するだけでなく、複数の情報を比べて、それぞれの共通点や関連性を発見し、どんな分類ができるかを自分で考える学習を丁寧に進めていきます。また事実と感想、意見とを区別して書いたり伝えたりする学習にも、より重点的に取り組んでいます。

算数

◎良好な点

- ・問題場面の数量関係をとらえ、立式する力がついています。

「〇〇より多い」、「のこりは□個」、「△人に等しく配る」など、数量関係を表す言葉に着目して立式したり、なぜその演算になると考えたのかを伝え合ったりする学習の成果が表れています。

- ・道のりとかかった時間からその速さを求めることができています。

図を用いて道のりや時間の関係を正しくとらえる学習の成果が表れています。さらに学習を深めるために、速さなど単位量あたり（1時間あたりに進む距離、1グラムあたりの重さなど）の大きさの意味や表し方を理解し、場面や目的に応じて比べ方を考え、日常生活に生かせるように学習を工夫していきます。

- ・示された求め方を基に正しい式を選び、答えを求める力がついています。



▲課題として

- ・円柱の展開図について、側面の長方形の長さを正しく認識することにつまずきがあります。

曲面がある立体について、具体物を使って考えたり、方眼紙に展開図をかいて立体を組み立てたりする学習を丁寧に進めていきます。

- ・グラフから必要な数値を読み取り、それを基に計算や比較をすることにつまずきがあります。

数値の読み方を言葉で説明したり、データを読み取ってとらえたことを伝え合ったりする活動を行っています。また、身近な場面に興味をもち、そこから生じた疑問を解決できるような問題場面を設定していきます。

学習・生活の様子

◎良好な点

- ・朝食を食べる、同じ時刻に寝る、同じ時刻に起きるなど、規則正しく健康な生活を送ることができている児童が多いです。
健康に過ごすために、授業で学習したことや養護教諭から教わったことを、普段に生活に役立てていると答えた児童も多いです。
- ・人の役に立つ人間になりたい、人が困っているときは進んで助けたいと考えている児童が多いです。
友だちとの関係に満足している割合も高いです。
- ・タブレット端末を活用して学習することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると考えている児童が多いです。
わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると答えた児童の割合も高いです。
- ・授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童や、自分にはよいところがあると思っている児童ほど、各教科の正答率が高い傾向が見られます。

▲課題として

- ・自分にはよいところがあると感じている児童の割合が低い傾向にあります。
友達のよいところによく気付くことができますが、自分のことには自信をもちにくいように感じます。友達同様、自分にもよいところがあるのだということに気付くことができるよう、互いに認め合ったり自身を振り返ったりする機会を多く設けていきます。特に、友達と関わるスキルを身につける「SST（ソーシャルトレーニング）」、互いに支え合う「ピアサポート活動」、自分で困難を乗り越えようとする「レジリエンス教育」を軸としたポジティブ教育を取り入れていきます。
- ・学校の授業時間以外に、勉強する時間が少ないです。また、放課後はテレビや動画を見たりゲームやSNSをしたりして過ごす児童の割合が高いです。
1日当たり3時間以上ゲームをする児童は、ゲームをする時間が3時間未満の児童より勉強時間が短く、寝る時刻が毎日同じではないという傾向が見られました。学校で出される宿題以外にも、興味があることに対して児童が自分で学習を進めていく習慣を作っていきたいと考えています。

